

新会長に広工大・竹田氏

地位向上へ活動継続

ク会
断士
コ断
島断
リト

広島県コンクリート診断士会は11日、広島市中区で第14回総会を開催し、各議案を慎重審議の末に承認したほか、2019年度から5年間に渡って会長を務めた十河茂幸氏（近未来コンクリート研究会）の勇退が決定。新会長には竹田宣典氏（広島工業大学、写真）を選んだ。



さつで十河会長は、「昨年度も約2カ月に1回の定例会をはじめ、広島市や中国地方整備局への講師派遣、中国5県の診断士会合同による講習会や整備局との意見交換など、充実した活動ができた。皆様の協力に感謝を申し上げる」と述べた。

議事では、診断士の技術向上や情報交換、地位向上などを目指して取り組んだ23年度事業報告及び収支決算書を原案通り承認するとともに、これらの事業の継続を盛り込んだ24年度事業計画案・予算案などを決定した。役員改選では、十河会

長が10数年間継続してきた広島での単身赴任生活を解消し、関東の家族のもとに帰ることに伴い、竹田宣典氏が新会長に就任したほか、新会長をサポートする2人目の副会長として江良和徳氏（コンクリートメンテナンス協会）を選出。

十河氏は「コロナ禍に見舞われながらも活動を継続できたのは皆様のおかげ。これからは通いの活動となるが、今後ともよろしくお願いしたい」と謝辞を述べ、竹田新会長は、「メンテナン

(案)を取りまとめる。
このほかに、施設の整

で入札参加申請を受け付ける。入札書の提出は7

命化改修」

「東小学校校舎棟長寿

億円の大型工事で、単体企業または2社構成によ

向上を目指して頑張る」と決意表明した。

また、終了後は十河氏が特別講演に立ち、「コンクリート診断士のこれから」を披露。広島大学

名誉教授の米倉亜州夫氏らが中心となって11年7月に設立した同会の歩みを振り返るとともに、予防保全の重要性などを強調し、同会の活動によっ

てさらなる診断士の地位向上を図ることへの期待を込めた。

新役員は次の通り。
(敬称略)

総会



【会長】竹田宣典
【副会長】岡田繁之（橋梁調査会）、江良和徳

【理事】徳納剛（福徳技研）、真鍋孝志（復建調査設計）、峯松昇司（井上建設）、佐藤義宏（荒谷建設コンサルタント）

【監事】西村勝彦（戸田建設）

【特別顧問】米倉亜州夫（米倉社会インフラ技術研究所）、十河茂幸

【顧問】河合研至（広島大学）、半井健一郎（同）、坂本英輔（広島工業大学）

【事務局】徳納剛、峯松昇司、森裕介（極東興和）、安井久敬（福徳技研）

要等は次

「岡山研究棟改築学系」

岡山大学

岡山大学

7。

5-300

約課（電

質問の

岡山大学

競争入札

（津島）

Ⅱ（法・

と関連の

公告した

いずれ

要書類を

け付ける

は7月16